

山岳救助隊ニュース 令和6年第1号

発行: 令和6年1月16日
埼玉県警察本部 地域部地域総務課

山岳遭難発生状況(令和5年中) 94件107人(+7件+10人)・死傷者57人(死亡8人、負傷者49人)

上の数字は、令和5年中、埼玉県内での山岳遭難発生件数と人数です。
5年前の令和元年の50件59人から毎年増加し、昨年は発生件数・人数ともに2倍に迫る状況となりました。

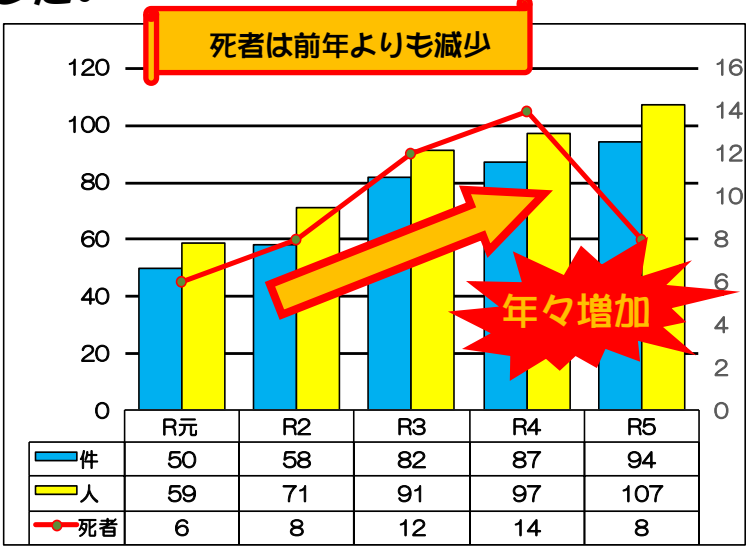
また、令和5年中の遭難件数94件のうち登山届の提出は30件で約32%しか提出されていませんでした。

【なぜ登山届が必要なの(・・・?)】

登山届の作成は、計画する登山行程が自分の力量に見合ったものが、検討・確認することで安全登山に繋がります。

また、家族や救助機関等に提出することで万が一、遭難してしまった際、救助活動の重要な手がかりとなります。

登山届(計画)の作成・提出は安全登山の第一歩となります。

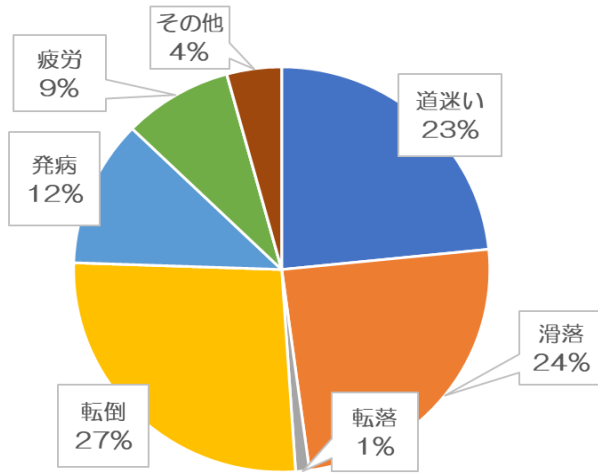


YamaReco



令和5年の遭難を振り返って

令和5年中の山岳遭難は94件107人で統計史上最多を記録しましたが、原因について確認してみましょう。



転倒・滑落は「踏ん張りが利かない」「足が上がりず踏く」「上手く足が踏み出せなかった」などの理由がありますが、これらは主に下山時に発生しており、疲労からくるものです。こまめな休憩やエネルギーの補給を心掛けましょう。

道迷いについては、「登山地図アプリをダウンロードしているのにも関わらず起動していなかった」「日没により現在地が分からず救助要請（実際は登山道上にいた）」など・事情は人それぞれですが、「自分がどこにいるか分かっていない」事が大きな要因と考えられます。

地図やアプリは、読み方・使い方が分からないと宝の持ち腐れになってしまいますので、事前に覚えておきましょう。

発病や疲労は熱中症や体力不足・寝不足などから引き起こることがありますので日頃から適度な運動をし、登山前日は過度な飲酒は控え、体調を整え、登山に臨む事が安全登山に繋がります。

～山岳遭難情報はコチラ！～

情報発信
エックス（旧ツイッター）で山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、参考にしてください。
アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課 @spp_chisouka



～採用情報～

山岳救助隊・ポリスワークセミナー開催中
・山岳救助隊の活動に特化した体験型のセミナーを毎月、秩父警察署で開催しています。受験生ほか、家族・友人の方も一緒に体験できますので、ぜひ参加してみてください。
・お問い合わせ
埼玉県警・地域総務課 048-832-0110

～登山届はコチラ！～

登山計画の提出が
手軽で簡単



利用者数No.1 登山地図GPSアプリ YAMAP



山と自然ネットワークコンパス
計画しやすく
全国全域の登山届がひとつの窓口で提出できます。



<https://www.mt-compass.com/howto.php>

